



親の思いを知る

6月1日は、「いのちを見つめる日」として佐世保市内小中学校では、様々ないのちを見つめる取組が行われました。本校でも、全校集会での校長講話（裏面参照）や緊急時お迎え下校リハーサルを行いました。特に緊急時お迎え下校リハーサルにおいては、保護者の皆様には大変お忙しい中御協力いただき、本当にありがとうございました。学校では、この経験が活かされる時がないことを祈りつつも、これからも子どもたちの安全を第一に考え、万が一の事態に備えていきます。

全校集会では、私の子どものことを話し、親にとって子どもがどんな存在であるのかを伝えました。生まれて間もないころ、熱を出してどんな思いで看病したか。かわいい笑顔で甘えていたか。子どもたちが大きくなるには、親を含めどれだけたくさんの人がかかわり支えてくれたことかを話し、一人一人がとても大切な存在であることを伝えました。

子どもたちの中には、幼かったころのことは忘れ、一人で大きくなったかのような言動を保護者の方にする子もいるかもしれません。親にとって子ども自身が何よりも大切な存在であり、大切にされてきたかを考えさせました。そして、周りの友だち一人一人にも親がいて、一人一人が大切な存在であること。悲しい思いや嫌なことをされたりすると、親がどんな思いで悲しみ心配するかを話しました。一人一人の子どもたちが、自分は大切な存在であることを自覚し、お互いを尊重し合える学校を、子どもたちと一緒に、全職員で支え合って創っていきます。

ありがとうございました。

5月28日（日）に令和5年度運動会を実施しました。3年ぶりの参観者制限のない運動会で、たくさんの保護者や来賓の方々に来校いただき、ありがとうございました。

子どもたちは、力いっぱい競技に参加し、体いっぱい表現することができました。運動会で培った力を、これからの学校生活に生かしていきます。子どもたちへの温かい声援、本当にありがとうございました。



【連絡】

- ・運動会后、創立150周年記念事業の一つとして記念タオルを配付しました。これからも様々な取組を通して記念事業に取り組んで参ります。来週にはPTAよりプリントも配付されると思いますので、併せて御確認をお願いします。
- ・梅雨に入りました。気温も上がり、学校では熱中症への注意も怠らないようにしています。御家庭でも十分な休養や水筒の準備などよろしくをお願いします。

本校ホームページも適宜更新していますので、御確認をお願いします。

← 日宇小学校ホームページ <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hiu/>

日宇小学校 緊急連絡用メールアドレス hiues6904@gmail.com →



令和5年6月1日

いのちを見つめる日 校長講話

佐世保市立日宇小学校

校長 永柄 孝知

これは、校長先生の娘の写真です（体育館スクリーンに写真を掲示）。1歳を少し過ぎたころの写真です。今は19歳です。熊本の大学で勉強しています。時には憎たらしいこともいうけど、校長先生にとってとても大切な娘です。

ここにいるすべての人に親はいます。親にとって、子どもは特別でとても大切です。つまり、すべての人が特別でとても大切な人なんです。世界でたった一つの特別でとても大切な存在なんです。

では、ここにいるみんなは、周りの人から大切にされているのでしょうか？みんなの中には、つらい思いやきつい思いをしている人はいませんか？大切な人がつらい思いをしているだけで、周りの人やおうちの方は、悲しくて心配する気持ちになります。先生方は、そんな思いをする子がいないように一生懸命にかかわり続けます。

いのちは、一人一人が一生懸命に自分のできることを頑張り、みんなと楽しく笑顔で生活していくことで輝きます。一人一人の子どもたちのいのちが輝くためのお手伝いを、先生方は全力でやり続けます。

みんなのいのちを輝かせるために、次の3つのことを忘れないでください。

一つ目は、「守る」と言うことです。何を守るかと言えばいのちと人権です。人権とは、人が生まれながらにして持っている誰からも大切にされる権利のことです。1年生にもわかるように言うと、みなさん一人一人が大切にされるということです。そして、自分のいのちを絶対に守り、「死ぬ」とか「死ぬ」とかいのちに係わる言葉を絶対に使わないことです。

二つ目は、「笑う」と言うことです。友達と頑張ることを続けて、本当に力いっぱいやりきった時は、自然に笑顔になるはずですが、そして、「ありがとう」という気持ちが心の中から沸き出てくるはずですが、いつも言うように、一日で一番使う言葉が「ありがとう」なら、きっとその人の周りは笑顔でいっぱいになり、みんな笑って生活できます。

三つ目は、「助け合う」と言うことです。周りの人と助け合うことです。人は一人では生きていきません。たくさんの人に支えられて生きています。相手の気持ちを考え、自分の言葉や行動を振り返らなければなりません。そのためには、周りの人にやさしい言葉でかかわってください。

言葉を言刃にせず、一人一人が大切にされ、「ありがとう」をたくさん言い、やさしい言葉で助け合うことを忘れないでください。みんなが力を合わせて、笑顔あふれる素敵な日宇小学校にしましょう。素敵な学校にするのは、みんなです。先生方はそのお手伝いを一生懸命にします。

最後にもう一度伝えます。みんなは世界にたった一人の特別でとても大切な存在です。あなたたちのことを心から愛してくれる家族がいて、一人一人が笑顔で暮らしていくことを心から願っています。そのためにも周りの人と「守る」「笑う」「助け合う」ことを忘れないでください。みんなの笑顔が輝き続けることを先生たちは支え続けます。150年の伝統を受け継ぎ、これからも日宇小学校が素敵な学校であり続けるよう、みんなも先ほどの3つを忘れずに、頑張り続けてください。